

## 第 50 回鎌倉まつり◇報告

## 「世界遺産登録をめざして」をテーマにパレード

4月中旬、第50回鎌倉まつりが開催されました。 今年は節目でもあり「世界遺産登録をめざして」を メインテーマとして大々的に行われました。

13日の午前11時から行われたパレードの今回の目玉は武者行列で、鎌倉の後には姉妹都市の行列が続きました。萩市は大砲を備えた奇兵隊が、上田市は真田の赤備え、足利市は八木節で踊りながらの



上田市から参加「神科子供十勇士隊」。

行進が行われました。手作りで甲冑を作る小田原の グループや地元議員団の武者姿、そしてモンゴルか らも華麗な民族衣装に身を包んだ一団も参加しまし た。文字通り「いざ鎌倉」が再現されたようでした。



鎌倉世界遺産登録推進協議会も昨年同様、ノボリと横断幕を掲げての参加です。今年も各所でマップを配布しました。また、シンボルマークの入ったTシャツを鎌倉生涯学習センターの前で販売しました。当協議会のオフィシャルグッズ第一号で、とても好評でした。



鶴岡八幡宮舞殿で世界遺産登録を祈願

パレードが終わり、いよいよ鎌倉の世界遺産登録 を祈願しての正式参拝が始まりました。

関係者が舞殿に上がると八幡宮の神官が詔を挙げ、おごそかに儀式が行われました。参拝が終了すると同時に舞殿の屋根の上にいた鳩があたかも鎌倉の世界遺産登録を祝うがごとく大空へ一斉に飛び立ちました。鶴岡八幡宮では源頼朝に扮した石渡徳一市長が甲冑姿のまま挨拶を述べ世界遺産登録への意気込みを語りました。姉妹都市の各市長もそれぞれ応援の挨拶をなされ、熱いエールを送りました。

今年の静の舞は日が暮れてから行われ、舞の解説 も従来の古典文学版ではなくよりリアルな内海恒雄 広報部会長監修の歴史考証版で行われました。

この後、19日には鎌倉生涯学習センターのホール で世界遺産講演会・演奏会が行われ、15日から21 日まで、同市民ギャラリーにおいて「鎌倉の美術・



写真コンクール入賞作品展」及び世界遺産登録に向けての『「武家の古都・鎌倉」美術・写真展』が開催されまりた。 18日にかけて内海恒雄 講師の寺社特別拝観めぐりも行われました。 普段見る事の出来ない場所も特別に見ることができ、とても有意義でした。